



北緑丘小学校だより

ふたば

令和5年度(2023年度)第10号

豊中市立北緑丘小学校

令和6年(2024年) 2月 1日

つながる学校

- 自分で考え、判断する力を持つ子ども
- 自分で目標に向かって、努力を続ける子ども
- ちがいを認め合い、相手の立場を尊重し、仲間とつながりあえる子ども

大谷選手のグローブと能登半島地震

昨年末に大谷翔平選手からのグローブが届きました。早速始業式で子どもたちに紹介し、しばらく職員室前の廊下に展示していました。現在、全員がグローブに触れることができるよう、6年生から順番にクラスごとに回しているところです。まだのクラスも楽しみに待っててくださいね。



始業式では、能登半島地震のことも話しました。残念ながらお亡くなりになった人がいること、家が倒壊し、停電・断水などで生活が困っている人がいること、大谷選手も能登半島地震のために支援していることについてです。そして「今できることは何か」ということを考えるように話をしました。一人ひとりの心温かい応援する気持ちがきっと北陸の人の心に届くだろうと思います。グローブに触れながら、ぜひそんなことにも思いをよせてほしいです。

がんばっています!運営委員会

<3学期の児童会目標>

仲間と共に 次の学年への
一歩をふみだそう!

~苦手なことにチャレンジ
できる学校生活を~

運営委員会では学校の実情に合わせ、いろいろなことに取り組んでくれています。年間を通しての目標は「きたみどGO!~みんなで通いたいハッピースクール~」です。3学期は「仲間と共に、次の一歩をふみだそう!~苦手なことにチャレンジできる学校生活を~」を目標に取り組んでくれています。具体的には、1~3年生の各クラスに「大なわ」「整理整頓」「勉強」の3つから苦手だなあと感じていることをアンケートし、4~6年の高学年が兄弟学級のクラスに楽しくサポートする、というものです。本校の学校目標は「自ら考え、行動し、挑む力を育成する」です。運営委員会の取り組みはまさに「挑む力(チャレンジ)」ですね!また、運営委員会では今、能登半島地震への募金活動をしています。

運営委員会だけでなく、それぞれの委員会も活動がんばっています。素晴らしいことだと思います。ぜひ3月までしっかり活動を続けてください。

ふれアート



豊中市の文化芸術センターの事業で、ヴァイオリニストの石塚和樹さんがお越しになり、3~6年生の各クラスに演奏をしていただきました。さらに、演奏だけでなく、楽器の仕組みについてもくわしく教えていただきました。速さがどんどん変わる「チャルダッシュ」は楽しい曲で、教室中を演奏しながら歩く石塚さんに子どもたちも手拍子で応えて盛り上がりしました。最後に演奏してくれた「ツィガーヌ」は超絶技巧のオンパレードで思わず見入ってしまいました。

本物の芸術を目の前で触れ合えるすてきな体験となりました。

これからも本物に触れ合える体験を大切にしていきたいと考えています。

4年ぶりの新春かるた大会

1月27日(土)はPTA主催のカルタ大会が行われました。実に4年ぶりです。低学年は「ポケモンカルタ」、中学年は「いろはカルタ」、高学年は「百人一首」です。それぞれに1回戦を行い、勝ち抜いた子どもたちが決勝に進んでいました。どの子も1枚でも多くカルタを取ろうと真剣な表情でがんばっていました。



高学年の百人一首は上の句を聞いただけで、次々とカルタを取っていく姿に思わず拍手が出ていました。今年参加していない人もぜひ来年は参加してくださいね。

準備をくださったPTAの方々本当にありがとうございました。